

みなし決議に関する平成29年度第1回理事会議事録

- 1 平成29年度第1回理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容
 - 第1号議案 平成28年度事業報告の承認の件
 - 第2号議案 平成28年度決算報告の承認の件
 - 第3号議案 後期高齢者医療制度における住所地特例施設入所者に係る異動状況・医療給付費等調査事業に係る助成の件
 - 第4号議案 平成29年度収支予算書（補正予算第1次）の件
 - 第5号議案 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件
 - 第6号議案 役員 of 辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件
 - 第7号議案 平成29年度定時評議員会の開催の件
- 2 1の事項を提案した理事
理事長 西川 太 一 郎
- 3 平成29年度第1回理事会の決議があったものとみなされた日
平成29年6月9日

理事長西川太一郎が、上記第1回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、平成29年6月9日付書面により、理事の全員から同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条に基づき、当該提案を可決する旨の第1回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、平成29年度第1回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条及び同法施行規則第62条において準用する第15条第4項第1号に基づき本議事録を作成した。

平成29年6月9日

公益財団法人東京都区市町村振興協会

議事録作成者

理事長 西川 太 一 郎

みなし決議に関する平成29年度第2回理事会議事録

- 1 平成29年度第2回理事会の決議のあったものとみなされた事項の内容
 - 第1号議案 多摩26市自治推進事業における追加事業に係る助成の件
 - 第2号議案 平成29年度収支予算書（補正予算第2次）の件
 - 第3号議案 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件
 - 第4号議案 第1回臨時評議員会（書面決議）の開催の件
- 2 1の事項を提案した理事
理事長 西川 太 一 郎
- 3 平成29年度第2回理事会の決議があったものとみなされた日
平成29年9月8日

理事長西川太一郎が、上記第2回理事会の決議の目的である事項について提案書を発し、当該提案につき、平成29年9月8日付書面により、理事の全員から同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条に基づき、当該提案を可決する旨の第2回理事会の決議があったものとみなされた。

上記のとおり、平成29年度第2回理事会の決議の省略を行ったので、当該理事会の決議があったものとみなされた事項を明確にするため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第96条及び同法施行規則第62条において準用する第15条第4項第1号に基づき本議事録を作成した。

平成29年9月8日

公益財団法人東京都区市町村振興協会

議事録作成者

理事長 西川 太 一 郎

公益財団法人東京都区市町村振興協会
平成29年度第3回理事会議事録

1 開催日時

平成29年10月4日（水）午後3時50分から午後4時20分まで

2 開催場所

東京区政会館 19階 192会議室

3 理事総数及び定足数

総数 6名、定足数 4名

4 出席者

出席理事 5名

代表理事（理事長） 西川太一郎（荒川区長）

代表理事（常務理事） 志賀徳壽（公益財団法人特別区協議会常務理事）

理事 長友貴樹（調布市長）

理事 河村文夫（奥多摩町長）

理事 野間達也（東京都総務局行政部長）

欠席理事

理事 清水庄平（立川市長）

監事総数 3名

出席監事 2名

監事 山口 真（東京都総務局多摩島しょ振興担当部長）

監事 中村元彦（公認会計士・税理士）

欠席監事

監事 杉浦裕之（瑞穂町長）

5 議長

代表理事（理事長） 西川太一郎

6 報告事項

(1) 平成29年度上半期事業実績報告の件

(2) 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告の件

7 議事の経過の要領及びその結果

事務局から本日の理事会の出席状況につき、理事6名のうち5名の出席があり、定款第33条第1項の規定に定める定足数を満たし適法に成立している旨を告げ、午後3時50分に理事長が議長席に着き開会を宣した。

議長は、議事録署名者について、定款第34条第2項の規定に基づき、理事長、志賀常務理事、山口監事、中村監事の4名が行う旨を告げた後、議事に入った。

報告事項（1） 平成29年度上半期事業実績報告の件

「平成29年度上半期事業実績報告の件」について、事務局荒木副参事から、配付資料に基づき平成29年度上半期における定款に定める事業の実績、サマージャンボ事業基金の管理状況、会議の開催状況、市町村振興宝くじ販売促進のための広報活動状況、当協会の概況について、詳細な説明があった。

議長が報告に対する質疑を求めたところ、長友理事から、サマージャンボ宝くじ等の交付金概要における東京都交付金に関して、配分額や配分比率の前年度との比較、配分比率の算定方法等について質疑があり、荒木副参事から、当せん金の構成比の比較、今年度から配分額算定方法における基礎数値が変更されていること等について説明があり、出席理事全員一致で了承された。

報告事項（2） 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告の件

当振興協会の代表理事である理事長と業務執行理事である常務理事、それぞれから平成28年度及び平成29年度上半期における職務執行状況について報告があった。

議長が報告に対する質疑を求めたところ、質疑はなく、出席理事全員一致で了承された。

以上をもって議事の全部を終了したので、議長は午後4時20分閉会を宣言し、解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成29年 10月 24日

代表理事（理事長） 西 川 太 一 郎 ⑩

代表理事（常務理事） 志 賀 徳 壽 ⑩

監 事 山 口 真 ⑩

監 事 中 村 元 彦 ⑩

公益財団法人東京都区市町村振興協会

平成29年度第4回理事会議事録

1 開催日時

平成30年2月7日（水）午後3時30分から午後4時15分まで

2 開催場所

東京自治会館 第4会議室

3 理事総数及び定足数

総数 6名 定足数 4名

4 出席者

出席理事 5名

代表理事（理事長） 西川太一郎（荒川区長）

代表理事（常務理事） 志賀徳壽（公益財団法人特別区協議会常務理事）

理事 長友貴樹（調布市長）

理事 清水庄平（立川市長）

理事 河村文夫（奥多摩町長）

欠席理事 1名 野間達也（東京都総務局行政部長）

監事総数 3名

出席監事 2名

監事 山口 真（東京都総務局多摩島しょ振興担当部長）

監事 中村元彦（公認会計士・税理士）

欠席監事 1名 杉浦裕之（瑞穂町長）

5 議長

代表理事（理事長） 西川太一郎

6 議決事項

(1) 収支相償への対応に伴う区市町村振興共同事業助成事業計画の変更の件

(2) 平成29年度収支予算書（補正予算第3次）の件

(3) 平成30年度区市町村振興共同事業助成の件

- (4) 平成30年度事業計画書の件
- (5) 平成30年度収支予算書の件
- (6) 平成29年度第2回臨時評議員会の開催の件

7 議事の経過の要領及びその結果

事務局から本日の理事会の出席状況につき理事6名のうち5名の出席があり、定款第33条第1項の規定に定める定足数を満たし適法に成立している旨を告げ、午後3時30分に理事長が議長席に着き開会を宣した。

議長は、議事録署名者について、定款第34条第2項の規定に基づき、理事長、志賀常務理事、山口監事、中村監事の4名が行う旨を告げた後、議事の審議に入った。

- (1) 第1号議案 収支相償への対応に伴う区市町村振興共同事業助成事業計画の変更の件
- (2) 第2号議案 平成29年度収支予算書（補正予算第3次）の件

議長は第1号議案と第2号議案を一括して上程し、事務局荒木副参事より議案書に基づき収支相償への対応に伴う区市町村振興共同事業助成事業計画の変更の件等について、今般、今年度の収支見込について検討したところ、公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を超えてはならないという基準である収支相償を満たすことが困難な状況にあることが判明した。ついては昨年6月開催の定時評議員会で追加助成事業として決議された「後期高齢者医療制度における住所地特例施設入所者に係る異動状況・医療給付費等調査事業に係る助成」事業の財源を、事業基金から基金運用益に振り替えることにより収支相償を図るとともに、その事業計画の変更に伴い29年度予算の補正を行いたいとの説明があった。

議長は、第1号議案及び第2号議案の賛否を諮ったところ、両案とも原案どおり出席理事全員一致で可決した。

- (3) 第3号議案 平成30年度区市町村振興共同事業助成の件

議長は第3号議案を上程し、事務局荒木副参事より平成30年度における区市町村振興共同事業助成として①62区市町村が連携及び共同して行う事業、②39市町村が連携及び共同して行う事業、③23特別区が連携及び共同して行う事業、④区市町村が共同して設置した団体が行う区市町村振興

事業、⑤区市町村職員共同研修事業、⑥日中友好交流事業について、議案書に基づき事業内容・経費等について詳細な説明があり、続いて①については特別区長会事務局から、②については東京都市長会事務局からそれぞれ説明があった。最後に荒木副参事から、区市町村振興共同事業助成についてはさる1月31日に開催された「東京都区市町村振興助成金審査会」に諮り、対象事業、対象団体、助成額について「適当である」との答申を得た旨の報告があった。

議長は、第3号議案の賛否を諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

(4) 第4号議案 平成30年度事業計画書の件

(5) 第5号議案 平成30年度収支予算書の件

議長は第4号議案と第5号議案を一括して上程し、事務局荒木副参事より議案書に基づき説明があった。

第4号議案については、市町村振興宝くじの収益金及びその運用益を活用して、定款の目的に沿った事業を行うことを記した事業計画書について詳細な説明があった。第5号議案については、収支予算の概要に沿って収入、支出の対前年度比較及び資金調達、設備投資の見込みについて、借入等の予定がないこと等の詳細な説明があった。

議長から、宝くじ交付金収入のところで、前年度比でマイナスとなることになりかえし説明されていたが、宝くじの売上が極端に落ちたのか、またそれに伴い振興協会の事業にも影響があるか、現在の状況は危機的か、との質疑があった。

荒木副参事は極端に落ちたということではないが、サマージャンボ宝くじでは、このところ3%から4%程度売上が落ちていて、それに伴い交付金収入も減り、さまざまな項目も減っていくという構造になっている。ハロウィンジャンボ宝くじでは、若い層にも購入してもらおうと名称変更をしたが、今回10%ほどの売上減となった。総務省や全国協会も含めて販売促進策を検討しているところだ。事業への影響については、振興協会の事業は、主に宝くじ交付金収入と貸付の利息収入により行われているが、このところの超低金利の中で利息収入も落ちていることから、いわばダブルパンチを受けて

いる状況だ。それでも我々東京都協会は、貸付金の利息収入がまだ4億ほどあるので影響はそれほどでもないが、規模の小さい地方協会は振興協会の職員人件費も捻出するのが大変だという話も聞いている。この金利情勢がもう何年か続くと、東京都協会もなかなか厳しい状況になってくると考えられる、と答えた。

議長は、第4号議案及び第5号議案の賛否を諮ったところ、両案とも原案どおり出席理事全員一致で可決した。

(6) 第6号議案 平成29年度第2回臨時評議員会の開催の件

議長は第6号議案を上程し、事務局荒木副参事より議案書に基づき説明があった。第6号議案については、第1号議案と第2号議案で決定した平成29年度の事業計画の変更、補正予算書の件及び平成30年度事業計画書及び平成30年度収支予算書について評議員会の承認を得る必要があり、第2回臨時評議員会を書面開催により開催し、その決議予定日は2月28日とする旨の説明があった。

議長は、第6号議案の賛否を諮ったところ、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

8 報告事項

- (1) 平成29年度サマージャンボ等及びハロウィンジャンボ宝くじの収益金の件
- (2) 平成30年度宝くじ発売計画の件
- (3) 平成29年12月31日現在のサマージャンボ事業基金等の残高の件
- (4) 基金運用検討委員会の結果報告の件
- (5) 理事長及び常務理事の職務執行状況報告の件

(1)及び(2)について荒木副参事から、(3)及び(4)については山本出納役から、資料に基づき一括して報告があり、出席理事全員一致で了承した。

次に(5)について当振興協会の代表理事である理事長と業務執行理事である常務理事、それぞれから平成29年10月以降の職務執行状況について報告があった。出席理事全員一致で了承された。

その後、荒木副参事より、東京都消防協会会長から西川理事長あて「新・日本消防会館の建設について」との要請書が提出されたので配付してある。後ほど確認いただきたい、との情報提供があった。

議長から、要請の趣旨は承った、ということにしたいとの発言があった。

以上をもって議事の全部の審議及び報告等を終了したので、議長は午後4時15分閉会を宣言し、解散した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した代表理事及び監事が記名押印する。

平成30年2月26日

代表理事（理事長） 西 川 太 一 郎 ⑩

代表理事（常務理事） 志 賀 徳 壽 ⑩

監 事 山 口 真 ⑩

監 事 中 村 元 彦 ⑩